

## 平成 31 年度第 1 回産業衛生技術部会企画運営委員会 議事録

日時: 平成 31 年 4 月 14 日 (日) 12:30~15:00  
場所: 東京八重洲ホール 514 号室  
出席者(敬称略): 加藤隆康, 橋本晴男, 野原誠一郎, 齊藤宏之, 津田洋子, 中原浩彦, 中村憲司  
原 邦夫, 宮内博幸

### 議題1: 新年度部会体制について

#### ➤ メンバー

- ・ 配布資料では回答待ちとなっていた東北地方会は、河合先生、森先生で承認済み。北陸・甲信越地方会は、現在調整中。5月までに回答を得る予定。
- ・ 理事長委嘱幹事については、理事長に人選を確認しておく(野原)

### 議題2: 委員会の体制と運営について

部会の委員会について、以下のように決定した。(敬称略)

委員会名	活動	メンバー
(1) 企画運営委員会	継続	配布資料の通り
(2) 教育研修委員会	継続	宮内(委員長)、中原
(3) 広報委員会	継続	齊藤(委員長)、中原
(4) 表彰委員会	継続	橋本(委員長)、土屋、圓藤、伊藤 (案) 候補から就任の了承を取る(橋本)
(5) 企業内安全衛生グループ委員会	停止	
(6) 許容濃度等の作業現場への活用に関する委員会	停止	(2010 以前に活動を終了)
(7) 個人ばく露測定に関する委員会	継続	現メンバー(案) 各委員に意向を確認する。(橋本)

### 議題3: 第 92 回学会(名古屋)について

#### ➤ 幹事会

- ・ 新部会体制については、幹事会で内容を提案して、総会で承認決定することとする。
- ・ 幹事会では、平成 30 年度の報告及び、新体制の提案書は旧体制が進める。平成31年度の企画案については新体制が議事進行する。  
(確認項目)村田先生が名古屋の学会に参加するか確認する。

#### ➤ 温熱環境研究会シンポジウム

- ・ 小野先生については、旅費・交通費を払う必要がある。
- ・ 事前の打ち合わせを実施するかは、パネリストの意向を確認する。(齊藤)  
実施する場合、総会の途中で抜ける必要があるため、総会の表彰を先にするなど臨機応変に対応する。

#### ➤ 表彰の準備

- ・ 表彰状の準備をする。(宮内、中原)
- ・ QUO カードを準備する(中村)

#### 議題4： 第 29 回全国協議会(仙台)について

- 公募シンポジウム(生物ハザード)
  - ・ プログラム作成に必要なシンポジウム情報は、宮内から事務局に送付済み。
  - ・ プログラムの内容を委員にシェアする。(宮内)
- 産業衛生技術シンポジウム(個人サンプラー測定を導入)
  - ・ 産業医の生涯教育実地研修として申請登録する方向で進める。
  - ・ 生涯実地研修となると、受付など事前の準備も必要になるが、別途検討する。
- 4部会合同企画(働き方改革をふまえてチームとしての産業保健)
  - ・ 具体的な内容が固まって、企画委員会で打ち合わせる内容があれば、企画委員にシェアする。(中原)
- 技術部会幹事会
  - ・ 9/14(土)の 12:00-13:00 に開催する

#### 議題5、6： 第 93 回学会(旭川)、第 30 回全国協議会(鹿児島)について

企画について、以下の案が議論された。次回幹事会で具体的にまとめていく。

- 過労死など労働時間について
  - ・ 講演候補者としては、吉川先生、久保先生、高橋先生が考えられる
  - ・ 産業疲労研究会とコラボで進めることも検討する。久保先生に確認する。
- 遠隔産業保健
  - ・ 産業医面談も遠隔で行う検討も進められており、学会内に研究会を立ち上げる動きがある。
  - ・ GPS や WiFi を用いた場所特定機能を用いた位置情報マッピングを使った、作業とばく露の調査研究など技術部会の活動とフィットしている領域もあるため、今後も企画案として検討を続ける。
- 騒音研究会とのコラボレーション
  - ・ 今後も企画委員会の検討テーマとして調査を継続する
- 個人サンプラーについて
  - ・ 国の個人サンプラー法制化は、2019 年度に測定方法、2020 年度に測定士の講習、2021 年度に一部導入する予定で進んでいる。技術部会として深く議論をする場を持つことが必要であるため、テーマとして取り上げられることを検討する。

#### 議題7： 産業衛生技術部会奨励賞の候補者について

- 本年度の受賞者(齊藤先生)が確認された。
- 今後の選定方針について、  
選挙内規について、会議資料の内容で原則了承されたが、以下を追加で明記する。
  - ✓ 学会発表は3回を目処とする
  - ✓ 決定は、委員4名で決定することにする
- 配布資料のリスト修正 (片岡さんと山本さんの所属が間違えているので入れ替える)

#### 議題8： 広報について (広報委員会より)

Web ページについては、スタイルシート機能を使って、ホームページを作りなおし、5月の幹事会で、ホームページに情報があることを説明する。(齊藤)

- ✓ トップページに新着情報を掲示するようにする。
- ✓ 過去の記録や議事録は、随時掲載していく。

#### 議題9： その他

1. 前回企画委員会の議事録

- ・ 議事録内容について了承された。
- ・ タイトルが、第三回→第二回に修正する。他に修正箇所があれば、事務局に連絡する。

2. 橋本先生資料について

1) 学会監事選挙

選挙結果について報告がされた。

2) 技術部会事務局内の業務分担

分担を以下のように定める

項目	内容	主担当	副担当	会計
組織, 決め事	部会内組織, 組織員(幹事など), 選挙対応。ルール・規定類。等	野原	山野	中村
産衛学会本部対応	報告・計画類提出。本部への問合せ、理事会対応	野原	齊藤 中原	
部会会議	企画運営委員会, 幹事会, 総会の企画, 運営, 議事録。等			
学会行事・教育	シンポ・研修会等の立案, 準備, 運営, 旅費・謝金。企画担当者との連絡・調整。表彰実施。等	宮内	中原	
広報 ホームページ, IT	HP の維持管理。部会共通のコンテンツ作成(個別コンテンツは各担当委員会等が作成)。メーリングリスト。等	齊藤	中原	
その他	随時発生した事項	野原、宮内、齊藤、中原 で状況に応じて分担		

3) 日測協との連携(日測協ハイジニスト制度)について

- ・ 今後進めていくうえで、産衛学会の代表の立場は誰か、等の整理が必要
- ・ 対応チームを作って活動を進める。チームは、中原(リーダー)、津田、橋本

4) ANOH(アジア産業衛生ネットワーク学会)の活動紹介

- ・ 学会の様子を紹介と、日本からも積極的な参加が求められることが紹介された

5) 厚生労働省情報

- ・ 厚生労働省の動きについて紹介された

以上。